

みなさんお元気ですか

改選され2年半が経過しました



朝のラジオ体操のあと、秋留台公園丘の上から庁舎を望む

市議会環境建設委員長として、身近な地域の要求に耳を傾け、上下水道の促進、生活道路の拡幅や排水対策、まちおこしのために商工業者と農業委員の経験を生かし各種団体との懇談会を提案し実施。市民団体と産業政策を研究してきました。子育て支援として保育園の待機児童の解消と内容の充実。「保険あつて介護なし」の制度に立ち向かい、高齢者が安心して暮らせるまちをめざして活動してきました。一層の充実目指し取り組みを強化します。

日本共産党市議団長として、積極的に議案提案権を行い、市民の願いを反映する努力を重ねてきました。とくに、他党派が市長の言いなりで「なんでも賛成」の態度をとる中で、介護保険や住民税増税に反対し、予算修正を提出。市が強引に進めた温泉事業を批判するとも、農業振興計画を制定させ、住民自治基本条例、産業振興基本条例の制定に向けた環境作りをすすめる、環境基本条例の制定を実現させ、その具体的実施計画を求めて頑張ることが出来ました。

日本共産党

# いつも市民の目線で お年寄りや子どもは「宝」の信条で

あきる野市議会議員

## 戸沢ひろゆき

### 市議会をリードしてきた二年間

71,200のアクセスをいただきました。  
<http://www.jcp-akiruno.com/>  
市政の動き、活動の内容がひと目でわかります。

戸沢ひろゆき活動報告  
2007年11月 号外  
042-558-6334 発行責任者 三井基次

## 日本共産党と戸沢ひろゆき



私の子ども  
の頃

私が小学校の3年生の時、両親が離婚し、母と暮らすことになった。(旧姓来栖、そして母方の戸沢に姓が変わった。)小学校三年の時から毎日新聞の配達少年として暮らしを支えて生きてきた。貧乏な家だったので、遠足などで、弁当を友と一緒に食べるのが大嫌いだ。オカズは、いつも、田んぼや畑のあぜに育つ、摘み草を煮て醤油をかけただけのオカズだったから包んだ新聞紙で隠して食べた。友に見られるのがいやだった。



入党の初心

中学を卒業し、中卒で初任給7,600円と1番給与が高い横河電機に就職し、旋盤工として働いた。切削油の匂いの強い職場だった。夜は小井工業高校で学んだ。

「定時制」である。授業中は眠むかった。夜間の3年のこの時に、安保闘争が起こっていた。私は、1961年に横河電機の職場で日本民主青年同盟に加入した。武蔵野・三鷹地域委員会の委員長になった。毎晩夜中まで、青年の未来を語った。1962年8月、工場での昼休み、山田清二さんと、佐川伸昭さんから入党の呼びかけがされた。「みんなで力を合わせ、働くものが幸せになるために汗をかこう」と握手を求められた。その日の夜、母の弟で、苦しかった生活を支えてくれた、日野自動車の総務部長であったおじを思い、出世ができなかったことなど考えると、寝る事が出来なかった。(伯父はその後専務取締役に)朝方、私は、この世に生まれ一度しかない人生、戦前から命がけて、国民主権を主張し、反戦平和の旗を掲げて活動する日本共産党員の一人として、生きる事が大切な事だと決意し、入党することを決めた。



市議に  
立候補

1970年、秋多町に第2の故郷を瀬戸岡に持った。1975年の秋、党公認で、市議会選挙に「立候補を」と、影山保議員と鈴木富雄元議員が説得に来た。私は横河電機での給料が半分になることを知らずに立候補することを決意した。途中で選挙状況により、活動の地域割りが半分になった。私は快く承諾した。勤務しながら欠勤で選挙戦に突入した。幸い、地元の知人、赤旗読者などのお力添えで勝利した。



市議として  
32年

人が人を搾取し、富を持つものが、貧者をこき使い、一



新しい政治探  
求する時代へ

参議院選挙の結果は議席は減りましたが日本共産党の比例代表選挙では前回、前々回の得票を上回り約440万票を得ました。自民・公明政治にノーの審判となりました。東京でも得票、得票率も増やしました。これからも「草の根」の活動を展開します。

部の者が、政治を支配し、経済大国と言いつつホームレス、医療、介護難民が増え続けています。誰もが安心して暮らせる社会、日本をつくるために命の限り頑張ります。日本共産党は、私利私欲なく助け合い、励ましあつて活動する暖かい人間集団です。「一人はみんなのため、みんなは一人のために」、この暖かい人間集団の日本共産党に入党することを皆さんに願って私の日本共産党に入党して45年の話とします。

# おかげさまで前半の2年半、元気一杯頑張れました

## 32年間一度も本会議休まず記録更新中



中越沖地震支援募金を訴える戸沢市議  
4日間で75,185円、ありがとうございました。

### 私の新しい役職

党市議団長・議会運営委員・阿伎留病院  
議会議員・総務委員・青少年健全育成委員・五日市線改善特別委員



予算特別委員会で  
追求する戸沢議員

### ごみカレンダー 時刻表も書ばれています

カラーのごみカレンダーの発行は私の提案でした。それまで手製のカレンダーを作成し喜ばれました。また電車、バスの時刻表も配布し、利用されています。

### 私の ホームページが好評

インターネットの普及を受けて、市議会で議会の様子を動画で放映しよう!と呼びかけた6年前に、60の手習いでしたが、市民との対話を強めるためにホームページをスタートさせました。今では私の議員活動に欠かせないものとなっています。特に若い人との意見交換は楽しく大変勉強になります。驚いたことは、私の近所で育った方が、遠くスペインから故郷を偲ぶメールを送ってくれます。「いつも楽しみにしていますよ」なんて言われると本当にうれしくなります。

### 環境建設委員長として 積極的提案

この2年間は環境基本計画の策定、農業振興実施計画の策定、産業振興計画策定の準備など市議会として提案し、行政側も積極的に立案、準備を進めてきた2年間でした。こうした時に市議会環境建設委員長として働くことが出来ました。

昨年夏、市内18ある全ての小中学校を訪問し校長先生と話し合い、現場の声を聞き教育長に届け懇談しました。

### 継続は力

秋川市になって初めての昭和50年、市議会議員になってから近藤秀雄、臼井孝、田中雅夫市長、そしてまた臼井孝市長と変遷しましたが、32年間一度も本会議休まず、一般質問の届出は32年間初日に提出。必ずその時々の市民の「声」を届け続けてきました。これからも「継続は力」の立場でベテランらしく全力をあげ市民の付託に答えてまいります。

- 平成十七年九月定例会市議会
- 仮称「まちをきれいにする条例」の提案
- 温泉事業は観光客より市民利用の重視を
- 平成十七年十二月定例会市議会
- 「スロートウン構想」を呼びかける
- 温泉事業より暮らし福祉を大切にすする予算編成を
- まちをきれいにすする条例の検討の進捗は
- 平成十八年三月定例会市議会
- あきる野市環境基本条例制定と「まちをきれいにすする条例」パート3 の提唱
- 産業振興基本条例の制定を提案
- 子育て支援として出産祝い金制度を提案
- 平成十八年六月定例会市議会
- 健やか子ども育成条例の制定を
- 中央図書館を安心して利用できる環境を
- 瀬戸岡地区の信号機設置について
- 平成十八年九月定例会市議会
- 子育て世帯の経済的支援を
- 菅生地区の下水道事業の促進を
- 日の出インター周辺の六価クロム問題を

西秋川衛生組合議会議員として  
年に三回の定例議会においても  
作業者及び地域に不安が生じたア  
スベスト問題、ゴミの資源化、自  
内処理の原則など必ず一般質問を  
行い問題提起しチェックしてきま  
した。



いまだき温泉事業を自治体が行うの  
は間違いだと指摘してきました。



本会議での一般質問も  
休まず続けてきました

一般質問で

この二年間

取り上げた課題

- 平成十八年十二月定例会市議会
- 障害者(児)に対する自治体の任務
- 障害者に対する応益負担に援助を
- 商工会への補助金を増やすよう求める
- 予算を「枠配分」で削減することの間違いを指摘
- 平成十九年三月定例会市議会
- 秋川駅北口商業核都市を守る提案
- 自治基本条例の制定を
- 行政改革推進本部による受益者負担増やすプランに  
反対だと追及



秋川駅で挨拶を  
続けてきました

- 平成十九年六月定例会市議会
- 設置可能なすべてのバス停に屋根を
- 中学三年まで医療費を無料に
- 定率減税で引き上げされる保育料の引き下げを提案
- 平成十九年九月定例会市議会
- 再び(仮称)まちをきれいにすする条例の提案
- 子育て支援の充実を
- 障害者福祉計画で問う
- イオンモール進出について